



木の風景

木の風景 [76]

大祇神社の
クスノキ

所在地：西寒野



クスノキ <楠・樟>

クスノキ科クスノキ属 [常緑高木]

西寒野の大祇神社の境内には、拝殿の前に、弓なりに大きく緩やかに反ったクスノキが立つ。

同神社は、古代日本で活躍したといわれる、日本武尊（やまとたけるのみこと）の父とされる第12代景行天皇を祭る。

例年、秋に開催される祭りには地域住民が多く参加し、さまざまな工夫を凝らした催しが行われ、終日人出でにぎわう。平成21年9月には、拝殿が改築された。

<説明>

高さは20^{メートル}、高いものになると50^{メートル}に達する巨木もある。

クスノキは生長が早く、樟脳（しょ

うのう）という有用物質を含むため、温暖な地域で盛んに栽培されてきた。

材は虫害に強く、また硬く綿密で、光沢があり、建築材や彫刻材、家具材、器具材などに利用され、特に昔は、大きな構造物の建築に欠かせなかった。また、耐水性にも優れているため、古代から船材としても利用され、遺跡から丸木舟が出土している。

広報

こうさ

2010年（平成22年）1月号
通巻486号

今月の表紙

12月6日（日）開催の熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会一般の部で初優勝した今井正人競技者のフィニッシュ。